

【別表2 アセスメントの過程を適切に稼働させるための定期的検証・評価（アセスメント）の仕組み】

■ 定期的検証の仕組み

以下にミクロレベルから、メゾレベル、マクロレベルへの各段階に準じた検証の担当組織を示す。

- ・ **教務委員会による科目レベルと教育課程レベルの接続を中心としたアセスメント**
教育課程レベルで要請されているものが、科目レベルで適切に実装・運用されているか、シラバスチェック、成績分布、FD 研修等を通して検証・評価し、改善する。
- ・ **学部教授会による教育課程レベルを中心としたアセスメント**
主に、教育課程レベルにおいて3つのポリシーが適切に実装・運用されているかを検証・評価し、改善する。
- ・ **大学協議会による機関レベルを中心としたアセスメント（活動状況の実施・モニタ）**
主に機関レベルとそのレベルに接続する教育課程レベルにおいて、3つのポリシーが適切に実装・運用されているかを検証・評価し、改善する。
- ・ **自己点検・評価委員会による中・長期的アセスメント（達成度の客観的調査）**
中期的・長期的な視点から、機関レベルの活動において3つのポリシーが適切に運用・改善され、PDCA サイクルが回っているかを記録・検証し、各レベルに必要なフィードバックを行う。
- ・ **外部評価委員会におけるアセスメント**
各レベルとその PDCA サイクルが適切に機能しているか、また地域の多様なステークホルダーの要請と合致しているかを検証・評価し、各レベルに必要なフィードバックを行う。